

# 令和2年定期総会

# 議 案 書

日 時 令和2年6月18日（木）

午後2時00分から

場 所 公益社団法人武蔵村山市シルバー人材  
センター内

※ 本議案書は総会当日必ずご持参願います。

公益社団法人  
武蔵村山市シルバー人材センター

公益社団法人武蔵村山市シルバー人材センター

## 令和2年 定期総会次第

- 1 会長開会の挨拶
- 2 議長選出
- 3 資格審査報告
- 4 監査結果報告
- 5 報告事項
  - (1) 令和元年度事業報告について
- 6 審議事項
  - 議案第1号 令和元年度決算の承認について
  - 議案第2号 役員を選任について
- 7 副会長閉会の挨拶

# 監 査 報 告 書

令和2年4月23日

公益社団法人  
武蔵村山市シルバー人材センター  
会 長 中 村 盡 殿

公益社団法人  
武蔵村山市シルバー人材センター  
監 事 井 上 雅 司 ㊟  
監 事 村 野 百 合 子 ㊟

私達は、公益社団法人武蔵村山市シルバー人材センターの令和元年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告します。

## 1. 監査の方法の概要

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査報告

- 一 公益社団法人武蔵村山市シルバー人材センターの令和元年度の事業報告は、法令もしくは定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及び附属明細書並びに財産目録の監査結果

公益社団法人武蔵村山市シルバー人材センターの令和元年度の計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

## 報告事項（1）令和元年度事業報告について

# 令和元年度 事業報告

（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）

## I 事業の概要

令和元年度のシルバー人材センター事業が終了しましたので、その概要をご報告いたします。

平成から令和の新時代にバトンがつながれたこの年は、12月を迎えたあたりから中国・武漢で発生した新型コロナウイルスが世界中に蔓延し、年度末には世界秩序を一変させてしまうほどの猛威により、近代まれにみる悲惨な状況に地球全体が突き落とされてしまいました。

現在の日本は、諸外国に比べ、感染被害の爆発的拡大を辛うじて抑え込んであるものの、今後予断を許さない危機的な状況にあり、しかもワクチンの開発までには最短でもあと1年はかかるとされ、一刻も早く特效薬が完成することを祈るほかありません。このコロナショックを受け、日本はもとより世界中の経済活動が極度に停滞する中、当シルバー人材センターにおきましても、3月より公共民間事業の中止等により事業に少なからぬ影響が生まれました。今後も完全に収束するのが不透明な状況下、苦しい道のりではありますが、何としても創意工夫、知恵を絞りながらセンター事業を運営していかねばなりません。

このような状況のもと、令和元年度は年度末のコロナショックの影響が3月期に表面化した以外は、比較的順調に実績を積み上げることができました。

御代替りとなりました令和元年度は、当シルバー人材センターも設立40周年を無事に迎えられた記念すべき年となりました。昭和54年6月26日に東京都で34番目の『高齢者事業団』として当初214名の会員でスタート、同年度の実績は受注件数389件、契約金額は3,392万5,111円でした。以来40年たった令和元年度には会員数においては1,119名規模となり、請負契約でも5,364件を受注、11万6,319人の延べ人数で就業に当たったことで4億1,079万1,636円もの成果を収めることができました。

労働者派遣事業につきましては、151件の受注により7,665人の延べ人数で5,959万3,070円の実績を上げました。この結果、請負と派遣事業を合わせた事業実績では総額4億7,038万4,706円となり、前年度に対して85万8,465円増の実績を残すことができました。当センターがここまで発展を遂げられま

したことは、シルバー事業を強力にバックアップしてくださいました市ご当局はじめ関係企業・団体、そして市民の皆様方の深いご理解と多大なるご支援のたまものと深く感謝申し上げる次第です。

さらに、この実績につきまして特筆すべきは、シルバー事業が市補助金額に対し実に 14.3 倍という費用対効果に相当するということであります。そして高齢者が元気で働くことにより病気に罹りにくくなり、生きがいを持ち続けることで免疫力が強くなり、寝たきりや病院へも通院しなくなります。結果として医療費や介護保険の削減に貢献していることが国の統計などからも証明されているところです。

シルバー人材センターは、自主的な公益法人として会員一人ひとりが運営の主体となり、健康で働く意欲のある武蔵村山市在住の高齢者の皆様によって構成されている組織であります。ただ、近年は定年延長や継続雇用等の影響もあって 60 代の若年会員の激減、会員の高齢化の進展と減少傾向は、シルバー人材センター全体の深刻な問題となっております。センターの生命線である新規会員の獲得は、今後もさらに力を入れていかなければならない喫緊の課題であります。こうした中で、設立 40 周年記念事業として設けました『社会奉仕活動』『会員作品展覧会』『記念誌編集』に関わる三つの部会の活動が滞りなく進められ、所期の目的を達成できましたことに改めて感謝申し上げます。

シルバー人材センターは、「福祉の受け手から社会の担い手」として、国及び地方自治体が行う高齢者就労支援施策や高齢者福祉施策の極めて大きな部分を担っております。

このことを裏付けるように令和元年度の事業実績は、行政や企業・一般家庭等の各方面からの積極的なご支援により、様々な事業を展開することができました。会員の就業活動をはじめ「派遣事業」「介護予防・日常生活支援事業」「重点推進事業」等に加え、全国のシルバー人材センターの中でも初めてとされるシルバー人材センターを活用したステップアップセミナー『ひきこもりからの脱出』を厚生労働省・東京しごと財団・武蔵村山市の協賛のもと開催しました。『8050』問題が大きくクローズアップされる中での、このセミナーは、非常に意義のある取り組みであると国からも高い評価を受けたところでございます。また超高齢会員の皆様に対しましても「メンタル・ケア事業」をさらに充実させ、共に寄り添う事業を着実に前に進め、新たな業務開拓を進めていかなければなりません、このように当センターは引き続き、活力に溢れ、一方で高齢会員あるいは初期認知症会員に常に寄り添いつつ、ぬくもりのあるバランスのとれた未来志向の事業展開を目指してまいります。

また安全管理、取り分け就業中の事故防止、さらには防犯、交通安全、転倒防止等の指導・周知活動にも力を注いだ結果、前年度に比べ会員就業中の傷害・賠償事故が15件から11件に減少し、重篤事故も防ぐことができました。社会奉仕活動も市内の案内板の清掃やごみ収集等を79名の会員によって実施できましたことは、地域との信頼と絆を一段と深めていくことにもつながり、シルバー人材センターの存在意義を多くの市民の方々に感じ取っていただく上で重要な取り組みの一つとなりました。

結びに、当センターに対しまして温かいご支援、ご協力をいただいております市ご当局、関係機関並びに地域の皆様に重ねて深く感謝申し上げます。併せまして今後とも皆様方のご期待にお応えできますよう、会員及び役職員一同気を引き締め、現在のコロナショックに少しでも対応できる体制構築に全力を注ぎ、さらなる発展と信用・信頼の価値を高めるセンターづくりをお約束し事業概要のご報告といたします。

## 事業の詳細

### 1 会員の現況（令和2年3月31日現在）

#### (1) 会員数

男 670人 女 449人 合計 1,119人

#### (2) 会員平均年齢

男 75.8歳 女 74.9歳 全体 75.4歳

#### (3) 地区別会員登録状況 (人)

区分	東部	中部	西部	緑が丘	南部	計
男	66	103	157	120	224	670
女	36	70	106	109	128	449
計	102	173	263	229	352	1,119

#### (4) 年齢別会員登録状況 (人)

区分	～59	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳～	計
男	1	14	76	198	230	151	670
女	2	15	58	149	148	77	449
計	3	29	134	347	378	228	1,119

#### (5) 入退会の状況 (人)

月別	入会	退会					計
		病気	就業	死亡	転出	その他	
平成31年4月	26	16	0	7	0	10	33
令和元年5月	6	2	0	1	1	0	4
6月	3	3	0	2	2	0	7
7月	14	0	0	0	0	1	1
8月	7	0	0	1	1	0	2
9月	2	0	0	0	0	0	0
10月	8	3	0	1	0	2	6
11月	14	0	0	1	0	1	2
12月	10	1	0	1	0	0	2
令和2年1月	8	2	0	0	0	4	6
2月	2	0	1	1	0	0	2
3月	0	2	0	2	1	3	8
計	100	29	1	17	5	21	73

## 2 事業実績

### (1) 月別事業実績

月別	月末会 員数	受託 件数	就業人員		契約金額			
			延実人員	延日人員	配分金	材料費	事務費	計
31年 4月	人 1,085	件 429	人 2,183	人 9,650	円 27,518,733	円 1,413,228	円 1,871,783	円 30,803,744
元年5月	1,087	443	2,099	9,939	30,977,222	2,385,164	1,840,835	35,203,221
6月	1,083	505	2,350	9,633	30,554,227	2,208,774	1,995,794	34,758,795
7月	1,096	464	2,392	11,300	36,381,200	2,425,907	2,054,016	40,861,123
8月	1,101	384	1,690	8,282	26,197,162	2,194,512	2,351,388	30,743,062
9月	1,103	483	2,256	10,219	33,645,191	2,795,367	2,582,461	39,023,019
10月	1,105	547	3,004	10,722	32,510,438	2,443,918	2,026,912	36,981,268
11月	1,117	515	2,790	10,598	32,295,923	3,279,438	1,885,421	37,460,782
12月	1,125	568	2,713	9,804	28,845,257	2,789,607	1,931,286	33,566,150
2年 1月	1,129	316	1,435	8,278	25,845,481	1,971,984	1,932,541	29,750,006
2月	1,129	347	1,832	8,844	26,454,890	1,516,912	2,337,393	30,309,195
3月	1,119	363	1,841	9,050	27,053,566	1,929,553	2,348,152	31,331,271
合計		5,364	26,585	116,319	358,279,290	27,354,364	25,157,982	410,791,636

### (2) 公共・民間別事業実績

受託別	受託 件数	就業人員		契約金額			
		延実人員	延日人員	配分金	材料費	事務費	計
公共	件 866	人 10,362	人 59,903	円 191,862,004	円 21,194,379	円 12,208,187	円 225,264,570
民間	4,498	16,223	56,416	166,417,286	6,159,985	12,949,795	185,527,066
合計	5,364	26,585	116,319	358,279,290	27,354,364	25,157,982	410,791,636

### (3) 職群別事業実績

職業別	公共		民間		合計	
	延日人員	配分金	延日人員	配分金	延日人員	配分金
1.技術群	人 2,713	円 8,732,505	人 406	円 517,527	人 3,119	円 9,250,032
2.技能群	784	5,766,136	14,626	31,903,212	15,410	37,669,348
3.事務整理群	68	575,834	45	312,510	113	888,344
4.管理群	11,749	43,302,878	1,955	10,421,950	13,704	53,724,828
5.折衝外交群	231	351,837	479	2,225,334	710	2,577,171
6.軽作業群	27,697	95,054,017	34,219	112,420,474	61,916	207,474,491
7.サービス群	14,618	26,658,617	4,686	8,616,279	19,304	35,274,896
8.その他	2,043	11,420,180	0	0	2,043	11,420,180
合計	59,903	191,862,004	56,416	166,417,286	116,319	358,279,290



### 3 会員就業状況

#### (1) 年齢別就業実績 (令和元年度中)

区分	~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳~	最高年齢
	人	人	人	人	人	人	歳
男	0	10	50	147	163	124	93
女	2	8	42	104	115	64	96
計	2	18	92	251	278	188	

#### (2) 月別就業実績

月別	月末会員数	就業実人員	就業率	月別	月末会員数	就業実人員	就業率
	人	人	%		人	人	%
31年4月	1,085	676	62.3	11月	1,117	694	62.1
元年5月	1,087	697	64.1	12月	1,125	676	60.1
6月	1,083	680	62.8	2年1月	1,129	668	59.2
7月	1,096	694	63.3	2月	1,129	628	55.6
8月	1,101	628	57.0	3月	1,119	681	60.9
9月	1,103	697	63.2	月別平均就業率			61.0
10月	1,105	676	61.2	年間累計就業率			74.1

#### (3) 男女別就業率

男 73.7%                      女 74.6%

### 4 労働者派遣事業

区分	受注件数	就業延人員	賃金	手数料等	派遣合計金額
4月	14	745	4,021,228	1,204,931	5,226,159
5月	13	569	3,542,085	1,110,521	4,652,606
6月	14	611	3,811,573	1,127,231	4,938,804
7月	14	804	4,422,062	1,375,525	5,797,587
8月	12	936	4,317,416	1,333,329	5,650,745
9月	12	522	3,417,724	1,075,040	4,492,764
10月	12	559	3,720,509	1,213,743	4,934,252
11月	12	551	3,615,855	1,158,550	4,774,405
12月	12	585	3,672,919	1,191,389	4,864,308
1月	12	590	3,671,290	1,176,816	4,848,106
2月	12	508	3,283,144	1,053,331	4,336,475
3月	12	685	4,004,729	1,072,130	5,076,859
合計	151件	7,665人日	45,500,534円	14,092,536円	59,593,070円

## 5 事業計画実施状況

事業計画項目	実施内容
1 情報の収集・提供及び調査研究	<p>広 報</p> <p>① 市報「むさしむらやま」に会員入会説明会の記事を掲載し市内高齢者に会員の参加を呼びかけた。(31.4月～2.2月)</p> <p>② 会報武蔵村山「シルバーだより」を 31,000 世帯に全戸配布し、市内全域に受注拡大・開拓・新入会員の獲得を目的としたPRを行った。(元.9月・2.3月)</p> <p>③ センター施設内にしるばっ娘手工芸品販売コーナーを設け、毎月2日間定例販売をおこない広くセンターPRに努めた。(31.4月～2.2月)</p> <p>④ 「第14回村山デエダラまつり」に参加しPR用品を来場者に配布、また「しるばっ娘」が手工芸品販売コーナーで出店し広くPR活動を実施した。(元.10.19日・20日)</p> <p>⑤ ホームページを改良・更新し、センター情報や活動、仕事の内容を写真やデーターを追加充実させることにより利用者からセンターにアプローチをやすく改善した。(31.4月～2.3月)</p> <p>⑥ 第6ブロック共同により「使い捨てマスク」を3,000個作製し、各種イベント会場等で来場者に配布し、年間を通じ広くセンターPR活動を実施した。(元.10月～2.3月)</p> <p>⑦ 写真同好会が武蔵村山病院にて写真展を開催する際にセンターPRを実施し、案内ハガキを1,000枚関係機関へ送付しPRに努めた。(元.7月2日～13日)</p> <p>⑧ 立川バスの車内アナウンスに当センターのPR広告音声を流すことにより会員の獲得及び就業開拓に努めた。(31.4月～元.3月)</p> <p>⑨ 市役所電子案内板にセンター広告を掲載し市民の目に触れるよう、会員獲得及び仕事の開拓に努めた。(31.4月～2.3月)</p> <p>⑩ 設立40周年記念事業『社会奉仕活動』市内全般を6か所に分け総勢88名で主要道路のごみ拾いを実施した。(元・7月13日)</p> <p>⑩ 設立40周年記念事業『会員作品展覧会』会員の創作した絵画・書・木工作品・手芸・写真等67作品をセンター施設内に展示し総勢214名もの市内見学者を招き実施した。(元.11月29日.30日)</p> <p>⑪ 設立40周年記念事業『設立40周年令和元年記念誌・働く喜びと笑って100歳!』を2000部発行し会員及び関係諸団体に配布した。</p> <p>⑫ シルバー人材センターを活用したステップアップ～セミナー『ひき</p>

事業計画項目	実 施 内 容
	<p>こもりからの脱出』を厚生労働省・東京しごと財団・武蔵村山市役所共催により対象者及び関係者 38 名を招き実施した。(元.12 月 19 日)</p> <p>⑬ 厚生労働省・東京しごと財団主催による『これからシルバー応援フェスタ』をイオンモール武蔵村山にてシルバー人材センターの普及啓発、紹介及びせんだみつお氏の講演会『山あり谷ありの芸能生活 46 年～しかし、今も元気に働ける喜び』また後半は参加者 50 名を対象に体力測定の体験等を実施した。(元.1 月 25 日)</p> <p>⑭ 武蔵村山市敬老会会場においてセンター紹介パネルを設置し広く来場者に P R 活動を実施した。(元.9 月 7 日)</p>
2 研 修 講 習	<p>① しごと財団監事研修 しごと財団主催による決算に向けた監事研修会を「東京しごとセンター」において監事 1 名が参加した。(31.4 月 17 日)</p> <p>② 自転車の運転に関する意識研修、認知症サポーター養成講座、脳トレ研修会を実施し会員 97 名が受講した。(元.8 月 27 日)</p> <p>③ 第 6 ブロック三役研修会 第 6 ブロック主催により「健康寿命の延伸のための健康管理&amp;運動実践」について公益財団法人東京しごと財団 シルバー保険事業室坂東寛講師により講演会を実施され三役が受講した。(2.2 月 7 日)</p>
3 就 業 開拓・提供	<p>《開 拓》</p> <p>① 重点事業推進委員会によって就業開拓専門員及び重点推進事業委員により市内企業・一般家庭・行政を訪問し、センター P R を行い仕事の開拓を行った。(31.4 月～2.3 月)</p> <p>② 三役が市長を表敬訪問し、「シルバー人材センター事業に対する要望書」を手渡し高齢者の就業機会の確保について説明・要望を行った。(元.10 月)</p> <p>③ 市長への年頭挨拶において三役が、来年度においても、引続き就業の継続と新規事業の受注依頼を行った。(元.1 月)</p> <p>④ 重点事業推進委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・刃物研ぎ事業の拡大、充実について検討</li> <li>・引き続き「空き家管理作業委託」の拡大と充実について検討</li> <li>・ハウスクリーニング事業の充実について検討。</li> <li>・刃物研ぎの出張作業の実施 年間 29 回実施しセンター施設及びデリバリーを含めると受注件数 954 件で実績金額では 1,159,500 円とな</li> </ul>

事業計画項目	実施内容																																													
	<p>った。また平成 26 年 9 月開始からの累計では延受注件数が 5,557 件で総実績金額では 6,110,800 円となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家管理実績については、受注件数が 27 件で総実績では 786,073 円となっている。累計では平成 27 年度から総計で受注件数 132 件となり実績金額だと 4,607,998 円になりました。</li> <li>・ハウスクリーニングは受注件数が 103 件で実績は 1,894,897 円で平成 25 年度からの累計総実績では受注 570 件実績金額は 10,069,273 円となった。</li> <li>・介護予防・日常生活支援総合事業では利用件数 367 件で総実績金額は 2,064,650 円となり、平成 29 年度からの累計では利用件数が 764 件で累計総実績では 4,368,650 円となった。</li> </ul> <p>《提供》 月平均では、契約件数 459 件・延日人員 10,332 人分の仕事を提供することができた。</p>																																													
4 相 談	<p>① 特設相談及び事務局での常時相談受付 毎月 20 日（休日の場合は翌日）を特設相談日として、高齢者の就業相談に常時応じた。また毎月第 3 水曜日に入会説明会を開催し、合計 100 名が事業の趣旨に賛同し入会した。</p> <p>受付状況は次表のとおり</p> <table border="1" data-bbox="427 1227 1353 1641"> <thead> <tr> <th>月別</th> <th>件数</th> <th>入会</th> <th>月別</th> <th>件数</th> <th>入会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>31・4月</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>11月</td> <td>20</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>元・5月</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>12月</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2・1月</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>16</td> <td>14</td> <td>2月</td> <td>5</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>3月</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>5</td> <td>2</td> <td rowspan="2">合 計</td> <td rowspan="2">120</td> <td rowspan="2">100</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>10</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>② 未就業会員仕事説明会及び相談 31 年度未就業会員 (206 名) に対し就業希望を調査し、希望会員 (34 人) に就業相談を行った。(元.10 月)</p> <p>③ 未就業会員対象事業説明会において、未就業会員に対し事業説明を行い賛同した全員が自転車道剪定委託業務において就業した。 実績金額 : 3,127,930 円 就業会員 34 人 就業延人員 264 日人 (元.11 月)</p>	月別	件数	入会	月別	件数	入会	31・4月	26	26	11月	20	14	元・5月	9	6	12月	10	10	6月	4	3	2・1月	8	8	7月	16	14	2月	5	2	8月	7	7	3月	0	0	9月	5	2	合 計	120	100	10月	10	8
月別	件数	入会	月別	件数	入会																																									
31・4月	26	26	11月	20	14																																									
元・5月	9	6	12月	10	10																																									
6月	4	3	2・1月	8	8																																									
7月	16	14	2月	5	2																																									
8月	7	7	3月	0	0																																									
9月	5	2	合 計	120	100																																									
10月	10	8																																												

事業計画項目	実 施 内 容
	<p>④ 就業会員「メンタルケア」事業の相談実施</p> <p>85歳以上の高齢会員を中心に専門職員が1対1の対話方式により就業や健康、日々の生活状況などに関することを把握し助言することにより生活感の向上を図ることを目的としたメンタルケアを実施した。</p> <p>(31.4月～2.3月)</p>
5安全管理	<p>① 防犯・交通安全</p> <p>「シルバーだより」において安全就業・防犯及び交通安全に関する記事を掲載し注意を喚起した。(元.9月3月)</p> <p>② 安全管理委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱中症対策1 会員対象夏用帽子の販売</li> <li>・熱中症対策2 冷却スカーフ・冷えピタ等の配布</li> <li>・熱中症対策3 ポカリスエット・塩飴・オーエスワンの配布</li> </ul> <p>(元.6月～9月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「安全・適正パトロール」を財団の専門指導員とともに就業現場に訪問し指導・点検を行った。(元.6月)</li> <li>・安全横断幕を、安全強調月間にセンター施設に掲揚し、また、安全腕章を就業会員に配布して安全就業啓発活動を実施した。(元.7月12月)</li> <li>・就業現場安全巡回パトロール指導</li> </ul> <p>「安全就業強化月間」に伴い、事務局職員による職種別(植木・除草・清掃班)巡回指導を実施し、その場において安全就業パンフレットを就業会員に配布し、注意を喚起する啓発活動を行った。</p> <p>(元5月・6月・7月・8月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全就業及び交通安全チラシを全会員に郵送し、安全に対し注意を喚起した。(元5月・2.1月.2月)</li> <li>・新入会員100名に対し安全マニュアル冊子を配布し、安全の普及に努めた。(31.4月～2.3月)</li> </ul> <p>③ 安全講習会・研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家班安全就業講習会(草刈り機・蜂刺され対策・チェーンソーDVDの映写及び安全就業心得、労働災害防止規定の説明)を実施して11名の会員が受講した。(31.4月)</li> <li>・財団安全就業危険予知活動研修会に当センターの福田安全指導員が受講した。</li> </ul> <p>㊦ 転倒事故や自転車利用事故などに共通する未然防止策としての危険予知活動</p>

事業計画項目	実施内容
	<p>① 事故のない就業現場を目指した取り組み (31.4月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・刈払機操作安全講習会に専門講師を招き、講習会を開催し46名の会員が参加した。(元.6月)</li> <li>・東大和警察署・武蔵村山市防災課の協力により「自転車事故防止講習会」を実施し会員20名がミュレーターを使用し適正検査テストを体験した。(元.9月)</li> <li>・財団主催による「安全大会」が実施され当センターから2名の職員が参加し豊島区・檜原村の安全就業に関する事例発表がなされた。(元.9月)</li> <li>・第6ブロック安全就業研修会に安全管理委員長及び事務局長・安全指導員が参加した。(元.9月)</li> </ul>
6 社会奉仕活動等	<p>① 防犯ボランティア活動 随時防犯パトロール用腕章・自転車プレートを身につけ日常生活の中でパトロールボランティアを行った。(31.4月～2.3月)</p> <p>② 「ひまわりガーデン武蔵村山」の種まきボランティアに市民ボランティア425人(内会員24人)が参加した。(元.5月)</p> <p>③ 定期総会において出席会員125人が、総会終了後、帰宅途上において清掃ボランティアを実施した。(元.6月)</p> <p>④ 社会奉仕活動委員会において「案内板清掃及びゴミ拾いボランティア」に79人の会員が参加した。(元.11月)</p>
7 各委員会の動向	<p>① 重点事業推進委員会 重点事業推進会議を実施した。(元.7月)</p> <p>② 研修講習委員会 研修講習に関する企画立案のため計3回の会議を実施した。(元.5月～2.2月)</p> <p>③ 社会奉仕活動委員 会員の社会奉仕活動に関する、企画立案のため計3回の会議を実施した。(元.4月～元.12月)</p> <p>④ 就業相談委員会 入会説明会の進行及び資料提供、就業相談のため、月1回の入会説明会と就業相談を実施し、未就業会員の就業相談を随時実施し、延べ120人の相談を受付けた。またその他1回会議を実施した。(31.4月～元.2月)</p> <p>⑤ 広報委員会 シルバーだよりの編集のため計8回の会議を実施した。「設立40周年</p>

事業計画項目	実 施 内 容
	記念誌」の編集を行った。(31.4月～元.2月)
8 その他	<p>① ひまわりガーデン武蔵村山が無事オープンし盛況を収めた。23 日間の開園日の中、総来場者数は1万7,391人で、1日当たりの平均では756人となった。(元.8月)</p> <p>② 財団会長会議の実施。 ・熱中症対策・予防について(元.7月)</p> <p>③ 公認会計士による予算及び決算会計指導が実施された。(31.4月・2.2月)</p> <p>④ 市立第4中学校生徒職場体験学習において3人の生徒が3日間当センターにおいて職場体験を実施した。(元.9月)</p> <p>⑤ 八王子市シルバー人材センター空家管理班水野常務理事他5名の理事が視察研修のため当センターに来団(2.2月)</p> <p>⑥ 写真同好会が武蔵村山病院にてセンターPR活動を兼ねて写真展を開催した。(元.7月)</p>

## 6 諸会議の開催状況

総 会	開催年月日	議 題
令和元年 定期総会	元.6.13	監査結果報告 議案第1号 平成30年度決算の承認について 議案第2号 役員を選任について 報告事項(1) 平成30年度事業報告について

理事会	開催年月日	主 な 会 議 議 題
第 1 回	31.4.26	報告事項 (1) 平成31年3月分事業実施状況報告書について (2) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施について (3) 財団「監事研修会」の実施について (4) 公認会計士による三市合同決算実務指導の実施について (5) 平成30年度事業監査及び会計監査の結果報告について (6) 設立40周年記念行事実行委員会 編集部会の実施について (7) 平成30年度安全管理委員会の実施について (8) 平成30年度安全就業講習会(植木班)の実施について (9) 平成31年度第1回安全管理委員会の実施について (10) 重点推進事業委員会の実施について

理事会	開催年月日	主 な 会 議 議 題
		<p>(11) 平成31年度 安全就業講習会（空き家管理班）の実施について</p> <p>(12) 平成31年度シルバー人材センター向け安全就業研修会（危険予知活動）の実施について</p> <p>(13) 設立40周年記念行事実行委員会 社会奉仕部会の実施について</p> <p>審議事項</p> <p>議案第1号 平成30年4月～平成31年3月分正味財産増減計算諸書及び貸借対照表について</p> <p>議案第2号 「職員の昇任に関する基準」の一部改正について</p> <p>議案第3号 平成30年度補正予算（第1号）について</p> <p>議案第4号 平成31年定期総会の開催について</p> <p>議案第5号 平成30年度事業報告について</p> <p>議案第6号 平成30年度決算の承認について</p> <p>議案第7号 役員を選任について</p> <p>議案第8号 定期総会における会員表彰について</p> <p>議案第9号 「任期付事務局長に関する要綱」の制定について</p> <p>議案第10号 就業会員年齢制限の一部改正について</p> <p>議案第11号 会員の入退会について</p>
第2回	元.5.26	<p>報告事項</p> <p>(1) 平成31年4月分事業実施状況報告書について</p> <p>(2) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施について</p> <p>(3) 設立40周年記念行事実行委員会 編集部会の実施について</p> <p>(4) ひまわりガーデン種まきボランティアの実施について</p> <p>(5) 第1回安全就業パトロールの実施について</p> <p>(6) 第2回安全管理委員会に実施について</p> <p>(7) 平成30年度合同会計指導・決算確認に関する指導結果報告について</p> <p>(8) 令和元年第1回研修講習委員会の実施について</p> <p>審議事項</p> <p>議案第12号 令和元年定期総会の運営及び役割分担について</p> <p>議案第13号 総会後の委員会新体制について（案）</p> <p>議案第14号 会員の入退会について</p>
第1回 臨時理事会	元.6.13	<p>審議事項</p> <p>議案第1号 会長の選任について</p>



理事会	開催年月日	主 な 会 議 議 題
		新会長就任の挨拶（議長就任） 議案第2号 副会長の選任について 新副会長就任の挨拶 議案第3号 常務理事の選任について 新常務理事就任の挨拶
第 3 回	元.6.26	報告事項 (1) 令和元年5月分事業実施状況報告書について (2) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施について (3) 第2・3・4・5回安全就業パトロールの実施について (4) 刈払機講習会の実施について (5) 財団安全就業指導員の訪問パトロール指導の実施について (6) 設立40周年記念行事実行委員会 編集部会について 審議事項 議案第15号 平成31年4月～5月分正味財産増減計算書及び 貸借対照表について 議案第16号 会員の入退会について
第 4 回	元.7.24	報告事項 (1) 令和元年6月分事業実施状況報告書について (2) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施について (3) 登記の変更報告 (4) 会長会議の実施について (5) 社会奉仕委員会40周年行事の実施について (6) 設立40周年記念誌編集部会の実施について (7) 研修講習委員会の実施について (8) 第3回安全管理委員会の実施について (9) 就業相談委員会の実施について (10) 第1回重点推進事業委員会の実施について 審議事項 議案第17号 平成31年4月～6月分正味財産増減計算書及び 貸借対照表について 議案第18号 会員の入退会について
第 5 回	元.8.28	報告事項 (1) 令和元年7月分事業実施状況報告書について (2) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施について (3) 設立40周年記念誌編集部会の実施について

理事会	開催年月日	主 な 会 議 議 題
		(4) 設立40周年展示部会の実施について (5) 安全管理委員及び安全推進委員合同会議の実施について (6) ひまわりガーデン武蔵村山の閉園について (7) 緊急安全対策委員会の実施について (8) 安全パトロールの実施について 審議事項 議案第19号 平成31年4月～7月分正味財産増減計算書及び貸借対照表について 議案第20号 会員の入退会について
第6回	元.9.25	報告事項 (1) 令和元年8月分事業実施状況報告書について (2) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施について (3) 設立40周年記念誌編集部会の実施について (4) 第14回デエダラまつりへの参加について (5) 第6ブロック安全就業研修会の実施について (6) 市立第4中学校生徒職場体験学習の実施について (7) 令和2年度配分金単価基準表の改正について (8) 令和元年度第1回広報委員会の実施について (9) 自転車運転意識研修及び認知症サポーター養成講座・脳トレ研修会の実施について (10) 敬老会受付ロビーPRパネルの設置について 審議事項 議案第21号 高齢者施策を担うシルバー人材センターへの支援について 議案第22号 会員の入退会について
第7回	元.10.23	報告事項 (1) 令和元年8月分事業実施状況報告書について (2) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施について (3) 自転車事故防止講習会の実施について (4) 『シルバー人材センター安全大会』の実施について (5) 第4回安全管理委員会の実施について (6) 市立第4中学校生徒職場体験学習のお礼文について (7) 労働者派遣事業上半期実績について (8) 設立40周年記念行事実行委員会 編集部会について (9) 令和元年度 広報委員会の実施について

理事会	開催年月日	主 な 会 議 議 題
		(10) 藤野市長へのシルバー人材センターへの支援についての要請 実施報告について (11) 第14回デエダラまつりへの参加について 審議事項 議案第23号 平成31年4月～令和元年8月分正味財産増減計 算書及び貸借対照表について 議案第24号 会員の入退会について
第8回	元.11.27	報告事項 (1) 令和元年9月分事業実施状況報告書について (2) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施について (3) 令和元年度上半期決算の実施について (4) 社会奉仕活動の実施について (5) 武蔵村山市からの要請文書とその回答について (6) 公益社団法人武蔵村山市シルバー人材センター事務局長の給与 の特例に関する基準の廃止報告 審議事項 議案第25号 平成31年4月～令和元年9月分正味財産増減計 算書及び貸借対照表について 議案第26号 任期付事務局長に関する要綱の一部改正について 議案第27号 継続雇用職員雇用要綱の一部改正について 議案第28号 職員就業規則の一部改正について 議案第29号 職員給与規程の一部改正について 議案第30号 職員の期末手当に関する基準の一部改正について 議案第31号 職員の勤勉手当に関する基準の一部改正について 議案第32号 準職員就業規則の一部改正について 議案第33号 会員の入退会について
第9回	元.12.25	報告事項 (1) 令和元年11月分事業実施状況報告書について (2) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施について (3) 設立40周年記念行事実行委員会編集部会の実施について (4) 令和元年度広報委員会の実施について (5) 設立40周年記念行事作品展示部会の実施について (6) 社会奉仕活動委員会の実施について 審議事項 議案第34号 会員の入退会について

理事会	開催年月日	主 な 会 議 議 題
第 10 回	2.1.29	<p>報告事項</p> <p>(1) 令和元年 1 2 月分事業実施状況報告書について</p> <p>(2) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施について</p> <p>(3) 広報委員会の実施について</p> <p>(4) 安全管理委員会・安全対策推進委員合同会議の実施について</p> <p>(5) シルバー人材センターを活用したステップアップ「ひきこもりからの 脱出」セミナーの実施について</p> <p>(6) シルバー人材センターの土地の貸付についての主管課との協議報告について</p> <p>(7) 東京労働局 高齢者雇用対策係の会計指導の実施について</p> <p>(8) 『これからシルバー応援フェスタ』の実施について</p> <p>(9) 藤野市長への三役年頭挨拶について</p> <p>審議事項</p> <p>議案第 3 5 号 平成 3 1 年 4 月～1 1 月分正味財産増減計算書及び貸借対照表について</p> <p>議案第 3 6 号 令和 2 年度予算編成について</p> <p>議案第 3 7 号 事務処理運営要綱の一部改正について</p> <p>議案第 3 8 号 総会議事運営規則の一部改正について</p> <p>議案第 3 9 号 公益社団法人武蔵村山市シルバー人材センター講師等謝金支払い基準の一部改正について</p> <p>議案第 4 0 号 会員の入退会について</p>
第 11 回	2.2.20	<p>報告事項</p> <p>(1) 令和 2 年 1 月分事業実施状況報告書について</p> <p>(2) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施について</p> <p>(3) 6 ブロック三役研修の実施について</p> <p>(4) 八王子市シルバー人材センター空き家管理班の視察について</p> <p>(5) 令和元年度広報委員会の実施について</p> <p>審議事項</p> <p>議案第 3 9 号 公益社団法人武蔵村山市シルバー人材センター講師等謝金支払い基準の一部改正について（継続審議）</p> <p>議案第 4 1 号 平成 3 1 年 4 月～1 2 月分正味財産増減計算書及び貸借対照表について</p> <p>議案第 4 2 号 令和 2 年度事業計画について</p> <p>議案第 4 3 号 資金調達及び設備投資の見込みについて</p> <p>議案第 4 4 号 任期付事務局長の雇用及び任命の承認について</p>

理事会	開催年月日	主 な 会 議 議 題
		議案第45号 会員の入退会について
第12回	2.3.17	報告事項 (1) 令和2年2月分事業実施状況報告書について (2) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施について (3) 令和元年度三センター合同会計指導・予算確認等結果報告 (4) センター安全案内板等の設置について (5) 令和元年度第3回研修講習委員会の実施について (6) 公益社団法人武蔵村山市シルバー人材センターの土地の貸付料の修正について 審議事項 議案第46号 令和2年度監査計画書(案) 議案第47号 令和2年度会計予算について (案)

# 審議事項

## 議案第1号 令和元年度決算の承認について

### 貸借対照表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金	72,148	31,149	40,999
郵便振替口座	179,385	176,814	2,571
普通預金	54,377,082	49,304,991	5,072,091
未収金	33,264,956	37,080,274	△ 3,815,318
貸倒引当金	△ 217,841	△ 244,701	26,860
*	33,047,115	36,835,573	△ 3,788,458
仮払金	0	0	0
貯蔵品	820,000	820,000	0
立替金	0	19,440	△ 19,440
前払金	108,202	100,919	7,283
流動資産合計	88,603,932	87,288,886	1,315,046
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	15,231,277	24,577,414	△ 9,346,137
減価償却引当資産	5,747,718	5,605,768	141,950
固定資産修繕等積立引当資産	14,000,000	14,000,000	0
固定資産取得積立引当資産	6,000,000	6,000,000	0
40周年記念行事積立資産	0	2,500,000	△ 2,500,000
特定資産合計	40,978,995	52,683,182	△ 11,704,187
(3) その他固定資産			
車輜運搬具	0	0	0
車輜運搬具減価償却累計額	0	0	0
*	0	0	0
什器備品	6,542,851	6,542,851	0
什器備品減価償却累計額	△ 5,747,718	△ 5,605,768	△ 141,950
*	795,133	937,083	△ 141,950
電話加入権	153,100	153,100	0
その他固定資産合計	948,233	1,090,183	△ 141,950
固定資産合計	41,927,228	53,773,365	△ 11,846,137
資産合計	130,531,160	141,062,251	△ 10,531,091
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	44,891,279	37,745,742	7,145,537
前受金	40,407	18,519	21,888
預り金	243,944	296,484	△ 52,540
市短期借入金	0	0	0
流動負債合計	45,175,630	38,060,745	7,114,885
2. 固定負債			
退職給付引当金	15,231,277	24,577,414	△ 9,346,137
固定負債合計	15,231,277	24,577,414	△ 9,346,137
負債合計	60,406,907	62,638,159	△ 2,231,252
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	( 0 )	( 0 )	( 0 )
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	70,124,253	78,424,092	△ 8,299,839
(うち特定資産への充当額)	( 28,105,768 )	( 27,982,564 )	123,204
正味財産合計	70,124,253	78,424,092	△ 8,299,839
負債及び正味財産合計	130,531,160	141,062,251	△ 10,531,091

# 正味財産増減計算書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	410,791,636	415,018,198	△ 4,226,562
受取配分金	358,279,290	362,478,253	△ 4,198,963
受取材料費等	27,354,364	24,780,627	2,573,737
受取事務費	25,157,982	27,759,318	△ 2,601,336
労働者派遣事業等受託収益	6,295,606	5,670,225	625,381
労働者派遣事業等受託費収入	6,295,606	5,670,225	625,381
受取会費	2,178,000	2,134,000	44,000
正会員受取会費	2,178,000	2,134,000	44,000
受取補助金等	74,430,322	65,981,671	8,448,651
受取連合交付金	6,836,000	7,236,000	△ 400,000
市等補助金	41,294,322	41,545,671	△ 251,349
重点推進事業費補助金収入	8,300,000	8,300,000	0
福祉・家事援助コーディネート設置助成	0	2,900,000	△ 2,900,000
雇用開発支援事業費等補助金	18,000,000	6,000,000	12,000,000
特定資産運用益	5,122	5,237	△ 115
特定資産受取利息	5,122	5,237	△ 115
雑収益	217,220	98,414	118,806
受取利息	172	128	44
雑収益	217,048	98,286	118,762
経常収益計	493,917,906	488,907,745	5,010,161
(2) 経常費用			
事業費	492,363,071	487,410,830	4,952,241
支払配分金	358,279,290	362,478,253	△ 4,198,963
支払材料費等	28,919,831	27,176,937	1,742,894
安全 法定福利費	468,200	0	468,200
安全 福利厚生費	22,919	0	22,919
職員基本給	23,109,274	22,611,456	497,818
職員特別手当	6,626,118	9,799,612	△ 3,173,494
職員諸手当	4,502,418	4,403,503	98,915
嘱託職員諸手当	639,590	424,080	215,510
重点推進員諸手当	436,456	273,682	162,774
法定福利費	7,190,016	7,609,199	△ 419,183
退職給付費用	1,528,488	1,528,488	0
福利厚生費	240,080	228,991	11,089
会議費	264,320	235,771	28,549
旅費交通費	1,035,339	1,062,719	△ 27,380
通信運搬費	2,757,099	2,812,677	△ 55,578
減価償却費	116,115	116,116	△ 1
消耗什器備品費	2,019,109	496,721	1,522,388
消耗品費	3,504,550	3,602,640	△ 98,090

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
雇用開発支援事業（派遣）	13,725,541	8,311,393	5,414,148
修繕費	760,475	489,914	270,561
印刷製本費	4,030,853	1,576,449	2,454,404
光熱水料費	997,334	1,099,359	△ 102,025
賃借料	10,168,029	8,321,400	1,846,629
保険料	3,807,451	3,621,064	186,387
諸謝金	0	11,137	△ 11,137
租税公課	398,109	248,063	150,046
支払負担金	167,406	170,531	△ 3,125
安全就業推進職員報酬	2,390,234	1,805,211	585,023
委託費	6,699,755	6,962,357	△ 262,602
派遣 法定福利費	2,016,843	1,043,759	973,084
派遣 福利厚生費	109,062	63,550	45,512
支払手数料	176,289	216,084	△ 39,795
燃料費	138,226	129,060	9,166
嘱託職員雇賃金	2,710,800	2,357,400	353,400
重点推進員雇賃金	2,343,600	2,343,600	0
雇用開発支援事業（請負）	0	2,343,600	△ 2,343,600
雇用開発支援（請負）	0	291,569	△ 291,569
請負 法定福利費支出	0	455,470	△ 455,470
請負 福利厚生費支出	0	21,102	△ 21,102
雑費	63,852	73,489	△ 9,637
旅費交通費支出	0	13,960	△ 13,960
賃借料支出	0	580,464	△ 580,464
管理費	9,923,643	9,696,881	226,762
職員基本給	2,682,326	2,624,544	57,782
職員特別手当	736,235	1,088,845	△ 352,610
職員諸手当	500,268	489,278	10,990
法定福利費	582,974	738,521	△ 155,547
退職給付費用	175,512	175,512	0
福利厚生費	11,312	14,778	△ 3,466
会議費	13,618	12,147	1,471
旅費交通費	142,521	148,211	△ 5,690
通信運搬費	337,288	344,087	△ 6,799
減価償却費	25,835	25,834	1
消耗什器備品費	187,567	46,143	141,424
消耗品費	389,394	400,293	△ 10,899
修繕費	46,823	30,164	16,659
印刷製本費	355,276	138,946	216,330
光熱水料費	201,384	221,985	△ 20,601
賃借料	2,097,385	1,836,210	261,175
保険料	34,578	32,885	1,693
租税公課	132,703	82,687	50,016
支払負担金	182,085	185,483	△ 3,398
安全就業等推進費支出	265,582	200,579	65,003
委託費	786,005	816,812	△ 30,807



(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
支払手数料	11,252	13,792	△ 2,540
燃料費	2,104	1,965	139
支払利息	0	0	0
雑費	23,616	27,180	△ 3,564
経常費用計	502,286,714	497,107,711	5,179,003
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 8,368,808	△ 8,199,966	△ 168,842
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 8,368,808	△ 8,199,966	△ 168,842
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
過年度収益修正	1,066,565	0	1,066,565
過年度収益修正	0	0	0
前期損益修正益	1,066,565	0	1,066,565
経常外収益計	1,066,565	0	1,066,565
(2) 経常外費用			
固定資産売却損	0	147,845	△ 147,845
車両運搬具売却損	0	147,845	△ 147,845
固定資産除却損	0	0	0
雑損失金	0	0	0
過年度損失修正	997,596	0	997,596
過年度雑損失	997,596	0	997,596
経常外費用計	997,596	147,845	849,751
当期経常外増減額	68,969	△ 147,845	216,814
当期一般正味財産増減額	△ 8,299,839	△ 8,347,811	47,972
一般正味財産期首残高	78,424,092	86,771,903	△ 8,347,811
一般正味財産期末残高	70,124,253	78,424,092	△ 8,299,839
II 指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	70,124,253	78,424,092	△ 8,299,839

# 正味財産増減計算書内訳表

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位：円)

科目	公益目的事業会計			その他 会計	法人会計	内部 取引 消去	合計
	シルバー人材 センター事業	共通	小計				
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
受託事業収益	406,300,801	0	406,300,801	0	4,490,835		410,791,636
受取配分金	358,279,290	0	358,279,290	0	0		358,279,290
受取材料費等	27,354,364	0	27,354,364	0	0		27,354,364
受取事務費	20,667,147	0	20,667,147	0	4,490,835		25,157,982
労働者派遣事業等受託収益	6,295,606	0	6,295,606	0	0		6,295,606
労働者派遣事業等受託費収入	6,295,606	0	6,295,606	0	0		6,295,606
受取会費	1,089,000	0	1,089,000	0	1,089,000		2,178,000
正会員受取会費	1,089,000	0	1,089,000	0	1,089,000		2,178,000
受取補助金等	70,135,713	0	70,135,713	0	4,294,609		74,430,322
受取連合交付金	6,836,000	0	6,836,000	0	0		6,836,000
市等補助金	36,999,713	0	36,999,713	0	4,294,609		41,294,322
重点推進事業費補助金収入	8,300,000	0	8,300,000	0	0		8,300,000
雇用開発支援事業費等補助金	18,000,000	0	18,000,000	0	0		18,000,000
特定資産運用益	2,561	0	2,561	0	2,561		5,122
特定資産受取利息	2,561	0	2,561	0	2,561		5,122
雑収益	0	108,610	108,610	0	108,610		217,220
受取利息	0	86	86	0	86		172
雑収益	0	108,524	108,524	0	108,524		217,048
経常収益計	483,823,681	108,610	483,932,291	0	9,985,615		493,917,906
(2) 経常費用							
事業費	432,306,200	60,056,871	492,363,071	0	0		492,363,071
支払配分金	358,279,290	0	358,279,290	0	0		358,279,290
支払材料費等	28,919,831	0	28,919,831	0	0		28,919,831
安全 法定福利費	468,200	0	468,200	0	0		468,200
安全 福利厚生費	22,919	0	22,919	0	0		22,919
職員基本給	0	23,109,274	23,109,274	0	0		23,109,274
職員特別手当	0	6,626,118	6,626,118	0	0		6,626,118
職員諸手当	0	4,502,418	4,502,418	0	0		4,502,418
嘱託職員諸手当	639,590	0	639,590	0	0		639,590
重点推進員諸手当	436,456	0	436,456	0	0		436,456
法定福利費	496,211	6,693,805	7,190,016	0	0		7,190,016
退職給付費用	0	1,528,488	1,528,488	0	0		1,528,488
福利厚生費	8,355	231,725	240,080	0	0		240,080
会議費	243,581	20,739	264,320	0	0		264,320
旅費交通費	709,400	325,939	1,035,339	0	0		1,035,339
通信運搬費	686,648	2,070,451	2,757,099	0	0		2,757,099
減価償却費	0	116,115	116,115	0	0		116,115
消耗什器備品費	1,356,746	662,363	2,019,109	0	0		2,019,109
消耗品費	1,925,908	1,578,642	3,504,550	0	0		3,504,550
雇用開発支援事業（派遣）	11,826,300	0	11,826,300	0	0		11,826,300
雇用開発支援事業（派遣）	1,899,241	0	1,899,241	0	0		1,899,241
修繕費	760,905	△ 430	760,475	0	0		760,475
印刷製本費	3,779,226	251,627	4,030,853	0	0		4,030,853
光熱水料費	0	997,334	997,334	0	0		997,334
賃借料	2,268,291	7,899,738	10,168,029	0	0		10,168,029
保険料	3,499,699	307,752	3,807,451	0	0		3,807,451
諸謝金	0	0	0	0	0		0
租税公課	777,700	△ 379,591	398,109	0	0		398,109
支払負担金	41,491	125,915	167,406	0	0		167,406
安全就業推進職員報酬	2,390,234	0	2,390,234	0	0		2,390,234
委託費	3,584,356	3,115,399	6,699,755	0	0		6,699,755
消耗品費	0	0	0	0	0		0
派遣 法定福利費	2,016,843	0	2,016,843	0	0		2,016,843
派遣 福利厚生費	109,062	0	109,062	0	0		109,062
支払手数料	0	176,289	176,289	0	0		176,289
貸倒引当金繰入額	0	0	0	0	0		0
燃料費	48,851	89,375	138,226	0	0		138,226
嘱託職員雇賃金	2,710,800	0	2,710,800	0	0		2,710,800
重点推進員雇賃金	2,343,600	0	2,343,600	0	0		2,343,600

(単位：円)

科目	公益目的事業会計			その他 会計	法人会計	内部 取引 消去	合計
	シルバー人材 センター事業	共通	小計				
一時借受金	0	0	0	0	0		0
雑費	56,466	7,386	63,852	0	0		63,852
旅費交通費支出	0	0	0	0	0		0
賃借料支出	0	0	0	0	0		0
管理費	0	0	0	0	9,923,643		9,923,643
職員基本給	0	0	0	0	2,682,326		2,682,326
職員特別手当	0	0	0	0	736,235		736,235
職員諸手当	0	0	0	0	500,268		500,268
法定福利費	0	0	0	0	582,974		582,974
退職給付費用	0	0	0	0	175,512		175,512
福利厚生費	0	0	0	0	11,312		11,312
会議費	0	0	0	0	13,618		13,618
旅費交通費	0	0	0	0	142,521		142,521
通信運搬費	0	0	0	0	337,288		337,288
減価償却費	0	0	0	0	25,835		25,835
消耗什器備品費	0	0	0	0	187,567		187,567
消耗品費	0	0	0	0	389,394		389,394
修繕費	0	0	0	0	46,823		46,823
印刷製本費	0	0	0	0	355,276		355,276
光熱水料費	0	0	0	0	201,384		201,384
賃借料	0	0	0	0	2,097,385		2,097,385
保険料	0	0	0	0	34,578		34,578
租税公課	0	0	0	0	132,703		132,703
支払負担金	0	0	0	0	182,085		182,085
安全就業等推進費支出	0	0	0	0	265,582		265,582
委託費	0	0	0	0	786,005		786,005
支払手数料	0	0	0	0	11,252		11,252
燃料費	0	0	0	0	2,104		2,104
支払利息	0	0	0	0	0		0
雑費	0	0	0	0	23,616		23,616
経常費用計	432,306,200	60,056,871	492,363,071	0	9,923,643		502,286,714
評価損益等調整前当期経常増減額	51,517,481	△ 59,948,261	△ 8,430,780	0	61,972		△ 8,368,808
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0		0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0		0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0		0
評価損益等計	0	0	0	0	0		0
当期経常増減額	51,517,481	△ 59,948,261	△ 8,430,780	0	61,972		△ 8,368,808
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
固定資産売却益	0	0	0	0	0		0
過年度収益修正	0	1,066,565	1,066,565	0	0		1,066,565
過年度収益修正	0	0	0	0	0		0
前期損益修正益	0	1,066,565	1,066,565	0	0		1,066,565
経常外収益計	0	1,066,565	1,066,565	0	0		1,066,565
(2) 経常外費用							
固定資産売却損	0	0	0	0	0		0
固定資産除却損	0	0	0	0	0		0
雑損失金	0	0	0	0	0		0
過年度損失修正	997,596	0	997,596	0	0		997,596
過年度雑損失	997,596	0	997,596	0	0		997,596
経常外費用計	997,596	0	997,596	0	0		997,596
当期経常外増減額	△ 997,596	1,066,565	68,969	0	0		68,969
他会計振替前当期一般正味財産増減額	50,519,885	△ 58,881,696	△ 8,361,811	0	61,972		△ 8,299,839
他会計振替額	0	0	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	50,519,885	△ 58,881,696	△ 8,361,811	0	61,972		△ 8,299,839
一般正味財産期首残高			70,958,178	0	7,465,914		78,424,092
一般正味財産期末残高			62,596,367	0	7,527,886		70,124,253
II 指定正味財産増減の部							
(1) 収益							
収益計	0	0	0	0	0		0
(2) 費用							
費用計	0	0	0	0	0		0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0		0
指定正味財産期首残高			0	0	0		0
指定正味財産期末残高			0	0	0		0
III 正味財産期末残高			62,596,367	0	7,527,886		70,124,253

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

什器備品について、定額法によるものである。

#### (2) 引当金の計上方法

##### 貸倒引当金

未収金の貸倒れ損失に備えるため、期末債権残高に一定率を乗じて算出した金額を計上している。

##### 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき当事業年度末において発生していると認められる額を計上している。なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

### 2 特定資産の増減及びその残高

特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期残高	当期増加額	当期減少額	当期残高
特定資産				
退職給付引当資産	24,577,414	0	9,346,137	15,231,277
減価償却引当資産	5,605,768	141,950	0	5,747,718
40周年記念行事積立資産	2,500,000	0	2,500,000	0
固定資産修繕等積立引当資産	14,000,000	0	0	14,000,000
固定資産取得積立引当資産	6,000,000	0	0	6,000,000
合 計	52,683,182	141,950	11,846,137	40,978,995

### 3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	15,231,277	0	0	15,231,277
減価償却引当資産	5,747,718	0	5,747,718	0
固定資産修繕等積立引当資産	14,000,000	0	14,000,000	0
固定資産取得積立引当資産	6,000,000	0	6,000,000	0
合 計	40,978,995	0	25,747,718	15,231,277

### 4 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
交付金						
国庫交付金	連 合	0	6,836,000	6,836,000	0	-
補助金						
市補助金	市	0	41,294,322	41,294,322	0	-
(うち都補助金)	(都)	0	(12,495,000)	(12,495,000)	(0)	-
重点推進事業費補助金	市・都	0	8,300,000	8,300,000	0	-
雇用開発支援事業費等補助金	連 合	0	18,000,000	18,000,000	0	-
合 計		0	74,430,322	74,430,322	0	-

### 5 退職給付関係

#### (1) 採用している退職給付制度の概要

退職金規定にもとづく退職一時金制度と中小企業退職金共済制度を併用している。

#### (2) 退職給付債務に関する事項

① 退職給付債務 15,231,277 円

② 退職給付引当金 15,231,277 円

#### (3) 退職給付費用に関する事項

① 退職給付金 0 円

② 中小企業退職金共済掛金 1,704,000 円

③ 退職給付費用 (①+②) 1,704,000 円

#### (4) 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の算定に当たり、簡便法を採用しており、退職給付に係る期末自己都合用支給額から中小企業退職金共済給付額を除いた金額を退職給付引当金に計上している。

### 6 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	24,577,414	0	9,346,137	0	15,231,277
貸倒引当金	244,701	0	0	26,860	217,841

(注)貸倒引当金の減少額は期末洗い替え処理による減少額である。

### 附属明細書

特定資産の明細及び引当金の明細については財務諸表の注記に記載しているため記載を省略します。

# 財産目録

令和2年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)				
現金	手元保管	運転資金として	72,148	
預金	普通預金			
	郵便振替口座	会費専用	179,385	
	りそな銀行村山支店	運転資金として	24,468,284	
	りそな銀行村山支店	運転資金として	1,134,988	
	東京みどり農協村山支店	運転資金として	10,512,706	
	青梅信用金庫村山支店	運転資金として	2,349,184	
	多摩信用金庫村山支店	運転資金として	11,209,428	
	西武信用金庫村山支店	運転資金として	4,702,492	
預金小計	7口座		54,556,467	
未収金	公益事業に対する未収額	公益事業の受託料金である	33,047,115	
貯蔵品	洗剤・清掃袋等	棚卸	820,000	
前払金	傷害保険料等	傷害保険料等	108,202	
流動資産合計			88,603,932	
(固定資産)				
特定資産	減価償却引当資産	定期預金青梅信用金庫村山支店	減価償却累計額見合の引当資産として管理している	5,747,718
	退職給付引当資産	定期預金西武信用金庫村山支店	職員退職給付引当金見合の引当資産として管理している	10,633,473
		定期預金東京みどり農協村山支店		4,597,804
	固定資産取得積立引当資産	定期預金多摩信用金庫村山支店	固定資産取得見合の引当資産として管理している。	6,000,000
	固定資産修繕等積立引当資産	定期預金りそな銀行村山支店	固定資産修繕等見合の引当資産として管理している。	14,000,000
その他固定資産	電話加入権	電話機	公益目的事業と管理運営用に供している	153,100
	什器備品	耐火書庫その他16点	公益目的事業と管理運営用に供している	795,133
固定資産合計			41,927,228	
資産合計			130,531,160	
(流動負債)				
	未払金	配分金等	会員に対する未払い分	44,891,279
	預り金	職員に対するもの	職員より預かっている社会保険本人負担分等	243,944
	前受金	発注者からの先預かり	会員に支払う配分金等	40,407
流動負債合計			45,175,630	
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員5名に対する退職金の支給に備えたもの	15,231,277
固定負債合計			15,231,277	
負債合計			60,406,907	
正味財産			70,124,253	
負債及び正味財産合計			130,531,160	

## 議案第2号

### 役員を選任について

定款第23条に基づき、補充役員を選任、公益社団法人武蔵村山市シルバー人材センターにおける理事候補者を次のとおり推薦する。

任期： 令和2年6月18日に開催される定期総会にて選任後、1年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定期総会の終結の時までとする。

役職名	氏名	ふりがな	備考
理事	鈴木義雄	すずき よしお	就任

## 公益社団法人武蔵村山市シルバー人材センター 役員名簿

令和2年6月18日現在

役 職 名	常・非	氏 名	就任日
会 長 (代表理事)	非常勤	中 村 盡	H25. 6. 21～
副会長	非常勤	加 藤 政 幸	H25. 6. 21～
常務理事 (事務局長)	常 勤	福 井 正 明	H28. 6. 17～
理 事	非常勤	石 井 常 男	H29. 6. 27～
理 事	非常勤	田 中 誠 一	H25. 6. 21～
理 事	非常勤	都 筑 栄 子	H25. 6. 21～
理 事	非常勤	播 摩 恵美子	H25. 6. 21～
理 事	非常勤	堀 口 芳 範	H29. 6. 27～
理 事	非常勤	室 井 正 男	H29. 6. 27～
理 事 (武蔵村山市健康福祉部長)	非常勤	佐 野 和 実	H30. 6. 22～
監 事	非常勤	井 上 雅 司	H29. 6. 27～
監 事	非常勤	村 野 百合子	H29. 6. 27～

# 固定資産一覧表

(令和2年3月31日現在)

## 1 什器備品

(単位:円)

品名	数量	金額	備考
耐火書庫	1	1	ライオン#301
物置	1	1	ヨドコウMFX-70HBL-2
物置	1	1	ヨドコウYMZR-15C
ポータブルワイヤレスアンブセット	1	1	パナソニックWX-282
VTRスタンド	1	1	VTR1500L
ゴミ集積保管用容器	1	1	ワイドステーションTW-550
カーブミラー	1	1	NACKSアクリルミラー
ユニットハウス	1	1	LCX-46H
物置パンダ3	1	1	SPACE-NAVI
物置パンダ2	1	1	SPACE-NANI
天吊エアコン(技能作業室)	1	1	ダイキンSYHP-80AJ7
天吊エアコン(会議室)	1	1	ダイキンSYHP-140AC
メールシーラー	1	255,850	postmate5
バロネスハンマーナイフモア	1	539,271	HMB80
合 計	14	795,133	

## 2 特定資産

(単位:円)

品名	数量	金額	備考
減価償却引当資産	1	5,747,718	青梅信用金庫
退職給与引当資産	1	10,633,473	西武信用金庫
退職給与引当資産	1	4,597,804	農業協同組合
固定資産修繕等積立引当資産	1	14,000,000	りそな銀行
固定資産取得積立引当資産	1	6,000,000	多摩信用金庫
合 計	5	40,978,995	

## 3 その他固定資産

(単位:円)

品名	数量	金額	備考
電話加入権	2	153,100	事務用2回線
合 計	2	153,100	

(単位:円)

総 合 計	21	41,927,228	
-------	----	------------	--



# 参 考 资 料

# 祝

令和2年 定 期 総 会 令和2年6月18日  
**表彰 被表彰者名簿** (敬称略)

1 会員表彰 表彰規程に該当する会員 (80人)

R2・6・30 現在

	会員番号	氏 名	入会年月 (平成)	備 考
1	1620	柚 村 典 子	平成 14 年 4 月	
2	1671	東海林 益 夫	平成 14 年 8 月	
3	1697	石 田 智 康	平成 14 年 11 月	
4	1713	梶 文 子	平成 15 年 1 月	
5	1722	与 儀 道 代	平成 15 年 1 月	
6	1770	笹 原 誠	平成 15 年 5 月	
7	1776	相 川 誠	平成 15 年 6 月	
8	1784	山 口 功 三	平成 15 年 7 月	
9	1815	山 本 悦 子	平成 15 年 9 月	
10	1862	堀 口 良 子	平成 16 年 2 月	
11	1877	橋 本 祥 宏	平成 16 年 4 月	
12	1904	関 田 紘	平成 16 年 5 月	
13	1941	佐々木 勝 紘	平成 16 年 9 月	
14	1954	鈴 木 一 男	平成 16 年 10 月	
15	1994	荒 畑 勝 實	平成 17 年 2 月	
16	2013	伊 藤 昭 二	平成 17 年 4 月	
17	2058	高 橋 初 子	平成 17 年 8 月	
18	2120	播 摩 孝 之	平成 18 年 4 月	
19	2199	目 黒 政 宏	平成 18 年 6 月	
20	2211	末 広 正 春	平成 18 年 7 月	
21	2220	田 中 誠 一	平成 18 年 7 月	
22	2333	澤 田 勝 幸	平成 18 年 9 月	
23	2438	珍 田 浩	平成 18 年 11 月	
24	2471	中 野 端 子	平成 18 年 12 月	
25	2566	吉 田 米 子	平成 19 年 4 月	
26	2584	中 川 久 嘉	平成 19 年 5 月	
27	2608	藤 井 正 俊	平成 19 年 6 月	
28	2621	山 崎 洋 子	平成 19 年 7 月	
29	2643	鳴 川 昭	平成 19 年 8 月	
30	2663	相 場 正 義	平成 19 年 9 月	
31	2738	中 村 良 三	平成 19 年 12 月	
32	2742	野 村 英 吉	平成 19 年 12 月	
33	2751	中 村 壺	平成 20 年 2 月	
34	2764	富 田 了	平成 20 年 4 月	
35	2766	岡 本 福 寿	平成 20 年 4 月	
36	2780	西 村 良 子	平成 20 年 4 月	

	会員番号	氏 名	入会年月(平成)	備 考
37	2801	志 村 忠 康	平成 20 年 5 月	
38	2828	三 上 幸 子	平成 20 年 6 月	
39	2849	西 村 美千子	平成 20 年 6 月	
40	2893	高 橋 義 治	平成 20 年 11 月	
41	2901	松 島 邦 男	平成 20 年 12 月	
42	2916	榎 本 茂 夫	平成 21 年 1 月	
43	2925	乙 幡 光 利	平成 21 年 2 月	
44	2973	山 崎 通	平成 21 年 4 月	
45	2976	金 田 福 男	平成 21 年 4 月	
46	2990	播 摩 恵美子	平成 21 年 6 月	
47	2994	関 本 成 雄	平成 21 年 6 月	
48	3002	伊佐川 和 子	平成 21 年 7 月	
49	3004	豊 泉 芳 江	平成 21 年 7 月	
50	3019	江 口 松 雄	平成 21 年 9 月	
51	3020	江 口 亘 代	平成 21 年 9 月	
52	3034	後 藤 政 江	平成 21 年 10 月	
53	3036	内之牧 博 子	平成 21 年 10 月	
54	3041	渡 部 アヤ子	平成 21 年 10 月	
55	3053	松 本 昌 美	平成 21 年 11 月	
56	3059	西 田 香 織	平成 21 年 11 月	
57	3066	佐 藤 宗 代	平成 21 年 12 月	
58	3079	森 岡 貞 子	平成 22 年 2 月	
59	3085	大 石 愛 子	平成 22 年 4 月	
60	3086	新 井 文 雄	平成 22 年 4 月	
61	3088	江 崎 俊 子	平成 22 年 4 月	
62	3090	山 口 智	平成 22 年 4 月	
63	3093	三 井 孝 夫	平成 22 年 4 月	
64	3103	増 田 豊	平成 22 年 4 月	
65	3104	刀 根 五 郎	平成 22 年 4 月	
66	3107	小井澤 豊 治	平成 22 年 4 月	
67	3108	矢 代 孝 二	平成 22 年 4 月	
68	3113	内 田 安 子	平成 22 年 4 月	
69	3122	伊 藤 一 成	平成 22 年 4 月	
70	3123	円城寺 洋 子	平成 22 年 4 月	
71	3124	向 田 邦 行	平成 22 年 4 月	
72	3129	菊 地 ミエ子	平成 22 年 5 月	
73	3138	藤 卷 信 雄	平成 22 年 5 月	
74	3140	滝 沢 敏 雄	平成 22 年 5 月	
75	3141	島 田 五 男	平成 22 年 5 月	
76	3146	清水屋 紀 夫	平成 22 年 6 月	

	会員番号	氏 名	入会年月（平成）	備 考
77	3147	石 坂 正 一	平成 22 年 6 月	
78	3152	雨 宮 昭 子	平成 22 年 6 月	
79	3156	花ヶ崎 ヒサ子	平成 22 年 6 月	
80	3161	小 林 進 治	平成 22 年 7 月	

## 2 社会奉仕活動 表彰会員（7人）

	会員番号	氏 名	参加回数	備 考
1	1988	弥 富 正 人	5 回	
2	1994	荒 畑 勝 實	5 回	
3	2133	副 島 勝 吉	5 回	
4	2388	峯 岸 恒 夫	5 回	
5	2751	中 村 盡	5 回	
6	2915	村 越 勝	5 回	
7	3287	松 尾 タ ミ	5 回	
8	3654	岩 田 博 希	5 回	
9	3766	若 林 操 子	5 回	
10	3770	飯 田 孝 子	5 回	
11	3774	佐 藤 博 一	5 回	
12	3847	神 保 悦 子	5 回	

## 3 役員表彰（1人）

	役 職	氏 名	任 期	就 任 日
1	理 事	佐 野 和 実	2 期	平成 30 年 6 月 22 日

## 4 職員表彰 表彰職員（1人）

	役 職	氏 名	勤続年数	入 社 日
1	局長代理	高 橋 修一郎	30年	平成2年4月1日

### ※表彰規程（一部抜粋）

- 第1条 この規程は公益社団法人武蔵村山市シルバー人材センター（以下「センター」という。）の発展に寄与し、功労があったものの表彰について必要な事項を定めることを目的とする。
- 第2条 表彰は、一般、役員、会員及び職員表彰とし、次の各号に該当するものに対して行う。
- (1) 略
  - (2) 役員表彰 センターの役員を継続して2期以上在任し退任したもの。
  - (3) 会員表彰 センターの会員として、センター事業の発展に寄与し、その業績が顕著なもの。  
(77歳を過ぎ、継続して10年を超え在籍（満77歳（喜寿）以上の方）
  - (4) 職員表彰 就業規則第33条 永年勤続し、功労があった場合。
  - (5) 前各号に該当するもののほか特に表彰に値する場合

### ※ 表彰規程に関する細目

- 第2条 2 社会奉仕活動委員会が主催するボランティア活動において、延5回参加した会員に対し総会において表彰する。

# 令和 2 年度 事 業 計 画

(令和 2 年 4 月 1 日から令和 3 年 3 月 3 1 日まで)

## 1 基本方針

- (1) 高齢者に適した就業機会を積極的に開拓する。
- (2) 高齢者の就業に関する知識、技能の向上を図る。
- (3) 高齢者の就業に関する普及啓発活動及び相談事業を行う。
- (4) 地域社会に対し奉仕活動を行う。
- (5) 自主的・主体的な運営体制の強化を図る。

## 2 事業実施計画

### (1) 情報の収集及び提供

事業に関する普及・宣伝に努めるとともに、広く各界各層の協力を得るため、次のような広報活動を中心に多面的な活動を随時行う。

区 分		説 明
印刷物による広報	広報紙 武蔵村山「シルバーだより」の発行	<p>高齢者の「生きがい事業」である、シルバー人材センターの活動状況を広く市民に紹介し、新規会員の入会を促すとともに、新規事業等の提供により会員の就業機会の確保及び増強を図る。そのためセンター広報紙、入会促進ポスター(外部用)、リーフレット、仕事開拓用リーフレットを作成する。</p> <p>また、併せて、上記の目的を達成するため、機会を捉え、市で発行する刊行物及び市内団体等の機関紙に関連記事の掲載を依頼する。</p>
	市刊行物の積極的活用	
	市内団体機関誌への記事掲載を依頼する。	
ホームページによる広報		ホームページによりPRを強化し、見やすさ、使いやすさとともに情報の整理、充実に努める。
会員によるPR活動		会員の口コミ運動により、就業機会の開拓を図るとともに、各家庭等に就業した会員がその地域においてパンフレット等を配布し、PR活動を実施する。
会員同好会等によるPR活動		市民まつり・月1回当センター内にて手芸品販売の際仕事開拓、会員増強活動を実施する。各種イベント会場等において、写真の展示等PR活動を実施する。

## (2) 研修・講習

就業等に必要な知識・技能の習得並びに事故防止及び発注者からのクレーム対応など、会員の資質の向上を図るため、次のとおり研修会を開催する。

研 修 項 目	対 象
接 遇 研 修 (年1回)	広報配布会員等その他
派遣就業会員研修会 (随 時)	派遣従事会員
福祉・家事援助専門研修会 (随 時)	福祉家事援助等従事予定会員
屋 内 等 清 掃 研 修 (随 時)	床清掃・トイレ清掃・ハウスクリーニング
自動車運転講習会・研修会 (随 時)	高齢ドライバー・センター車両使用者

## (3) 就業機会の開拓及び提供

地域における市民の方々や行政・事業所等に対し、センター事業の理解をさらに深めるため、重点事業推進委員会が中心となり派遣事業と重ねて広報活動と訪問活動を活用した就業開拓事業を積極的に行い、会員への就業提供を推進する。

### ① 就業機会の開拓について

企業及び各種団体等を積極的に訪問し、信頼関係を深める中で、理解を得られるような仕事(請負・派遣)の開拓に努めるとともに、相互に連携を保ちながら共存・共栄の関係を確立する。

### ② 「高齢者メンタルケア事業(銀友事業)」を今後も継続、充実に努める。

仕事の創出・・・80歳以上会員、フレイル会員等の就業機会の創出の充実。

### ③ 就業の提供について

請負事業・・・月平均就業率は、70%を目途とする。

派遣事業・・・延べ日7千300日とする。

## (4) 調査・研究

① 会員の就業機会を確保するため、発注者のニーズや会員(高齢者)等の実態を分析し、就業開拓のあり方について調査・研究を行う。

② 高年齢会員の就業機会を確保するため、その調査・研究を行う。

③ 女性会員の活動の場を拡充するため、その調査・研究を行う。

④ 福祉・家事援助サービス事業のため、その調査・研究を行う。

⑤ 顧客満足度調査等を実施し、会員に適した就業のあり方について調査・研究を行う。

⑥ 適正な請負契約を推進するため、自主点検を行うほか、その調査・研究を行う。

⑦ 安全な就業を推進するため、事故の原因を分析し、安全対策について調査・研究を行う。

- ⑧ 公益法人として円滑な運営を行うため、財源確保・運営等について調査・研究を行う。
- ⑨ シルバー派遣事業についての調査・研究を行う。
- ⑩ 土地の賃借料について、市との協議を含め調査・研究を行う。

(5) 相 談

会員等の就業に関する相談

① 市民（高齢者）個別就業相談

市民福祉の向上を目途に、随時、高齢者就業相談窓口を開設し対応する。

② 入会説明会

原則として毎月第3水曜日に説明会を開催する。参加者に対しては、事業の趣旨・仕組み等を細部にわたり説明し、趣旨等に賛同された方の入会を受付ける。ただし、特定職種等に就業する会員が必要な場合は、臨時に入会説明会を開催する。また随時入会受付や出張入会受付を検討し、試行的に導入しながら会員増を図る。

③ 会員個別相談・メンタルケア事業

メンタルケアルームを設置し、主に高齢会員のメンタルケア相談事業を実施する。会員の就業や健康、生活に対する悩み・疑問等について、随時相談に応じ、それぞれが抱える問題解消の援助に努める。

会員のライフスタイルに合わせた就業機会の提供と創出を行う。

(6) 安全対策

就業中及び就業場所への往復等における無事故を目標に、安全管理委員会及び安全支援員が中心となり、次の事業を実施する。

安全意識の高揚	交通安全講習会の開催
	安全就業パンフレット作成
	機械取扱い安全講習会の開催
	安全就業強化月間中の安全喚起活動（横断幕・腕章の携帯）
	転倒予防講習会の開催
	熱中症予防対策研修会
	生活安全講習会
	安全就業巡回指導の実施（随時）
	職種別年齢制限の導入

## (7) 会 議

センター事業の効果的推進を図るため、次の活動を行う。

- |                        |            |
|------------------------|------------|
| ① 定期総会                 | 年 1 回 (6月) |
| ② 理 事 会                | 毎月 1 回     |
| ③ 三役会                  | 随 時        |
| ④ 委員会                  |            |
| ・ 組織運営検討委員会            | 年 1 0 回    |
| 1) 事務局体制の再構築及び中期計画作成   |            |
| 2) 規定の整備               |            |
| 3) OJT、OFFJT の積極的な取り入れ |            |
| 4) 安定した財源の確保の検討        |            |
| 5) 就業開拓                |            |
| ・ 研修・講習委員会             | 随 時        |
| ・ 社会奉仕活動委員会            | 随 時        |
| ・ 就業相談委員会              | 随 時        |
| ・ 広報委員会                | 随 時        |
| ⑤ 仕事別グループ班会            | 随 時        |
| ⑥ 安全管理委員会              | 随 時        |
| ⑦ 安全支援員会議              | 随 時        |
| ⑧ 福祉家事援助サービス会議         | 随 時        |
| ⑨ 派遣事業調整会議             | 随 時        |
| ⑩ メンタルケア事業カンファレンス      | 随 時        |

## (8) ワークプラザの有効的活用

- ・ 役職員会議等の充実
- ・ 会員入会に関する説明会、セミナー及び講習会等の実施
- ・ メンタルケアルームの充実
- ・ 内職作業の充実・拡充
- ・ 襖・障子張作業の充実・拡充
- ・ 刃物研ぎ作業の充実・拡充
- ・ シルバーパス発行事務の充実
- ・ 広報等配布活動の拠点としての有効活用

## (9) 社会奉仕活動

- ① 市内児童の安全の確保及び各種犯罪の発生の抑止を目的に、会員が就業中や就業途上、あるいは日常生活の中で積極的に腕章や自転車には啓発プレートをつけるほか、事業用車両にはマグネット式の安全啓発版を装着し日々センターを挙げて防犯パトロール活動を行う。



- ② 総会・研修会・各種イベント等の開催後、参加した会員が市内の清掃ボランティアを行う。
- ③ 案内板等の清掃活動
- ④ 個人家庭への市刊行物等の配布時に、郵便受けの状況を確認し、異常時にはセンターへ連絡する「命の見守り」ボランティアを行う。  
また、併せて、空き家を見つけた場合は市への情報提供を行う。
- ⑤ シルバーだよりの全戸配布。

## 令和2年度収支予算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

武蔵村山市シルバー人材センター

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	5,000	5,000	10,000
特定資産受取利息	5,000	5,000	10,000
受取会費	1,200,000	1,200,000	2,400,000
正会員受取会費	1,200,000	1,200,000	2,400,000
事業収益	505,879,616	6,620,384	512,500,000
受取配分金	440,000,000	0	440,000,000
受取材料費等	28,500,000	0	28,500,000
受取事務費	37,379,616	6,620,384	44,000,000
受取補助金等	62,253,352	3,612,648	65,866,000
受取市補助金	31,124,352	3,612,648	34,737,000
受取連合交付金	7,829,000	0	7,829,000
重点推進事業費補助金収入	8,300,000	0	8,300,000
雇用開発支援事業費等交付金収入	15,000,000	0	15,000,000
福祉等コーディネーター助成金収入	0	0	0
労働者派遣等受託事業	6,000,000	0	6,000,000
労働者派遣受託事業等受託費収入	6,000,000	0	6,000,000
受取寄付金	5,000	5,000	10,000
受取寄付金	5,000	5,000	10,000
雑収益	255,000	255,000	510,000
受取利息	5,000	5,000	10,000
雑収益	250,000	250,000	500,000
経常収益計	575,597,968	11,698,032	587,296,000
(2) 経常費用			
事業費	575,597,968	0	575,597,968
支払配分金	440,000,000	0	440,000,000
支払材料費等	25,630,000	0	25,630,000
職員基本給	22,362,368	0	22,362,368
職員特別手当	8,723,700	0	8,723,700
職員諸手当	2,732,400	0	2,732,400
管理職手当	517,500	0	517,500
嘱託職員雇賃金	0	0	0
嘱託職員諸手当	1,854,000	0	1,854,000
就業開拓員雇賃金	2,340,000	0	2,340,000
就業開拓員諸手当	280,000	0	280,000
派遣担当専門員報酬	6,920,000	0	6,920,000
安全就業推進職員報酬	2,106,000	0	2,106,000
雇用開発支援等事業職員報酬	6,876,000	0	6,876,000
法定福利費	9,949,300	0	9,949,300
福利厚生費	554,855	0	554,855
退職給付費用	3,031,860	0	3,031,860
会議費	475,500	0	475,500
旅費交通費	975,690	0	975,690
通信運搬費	3,590,730	0	3,590,730
減価償却費	122,700	0	122,700
消耗什器備品費	1,079,700	0	1,079,700
消耗品費	3,485,700	0	3,485,700
修繕費	471,000	0	471,000
印刷製本費	2,789,165	0	2,789,165
燃料費	520,080	0	520,080
光熱水料費	1,664,000	0	1,664,000
賃借料	14,316,830	0	14,316,830
手数料	282,000	0	282,000
保険料	4,558,600	0	4,558,600
諸謝金	290,000	0	290,000

租税公課	1,275,000	0	1,275,000
支払負担金	316,140	0	316,140
委託費	5,074,650	0	5,074,650
貸倒引当金繰入額	250,000	0	250,000
雑費	182,500	0	182,500
管理費	0	11,698,032	11,698,032
職員基本給	0	2,595,632	2,595,632
職員特別手当	0	969,300	969,300
職員諸手当	0	303,600	303,600
管理職手当	0	57,500	57,500
安全就業推進職員報酬	0	234,000	234,000
法定福利費	0	806,700	806,700
福利厚生費	0	26,145	26,145
退職給付費用	0	348,140	348,140
会議費	0	24,500	24,500
旅費交通費	0	134,310	134,310
通信運搬費	0	439,270	439,270
減価償却費	0	27,300	27,300
消耗什器備品費	0	100,300	100,300
消耗品費	0	387,300	387,300
修繕費	0	29,000	29,000
印刷製本費	0	245,835	245,835
燃料費	0	7,920	7,920
光熱水料費	0	336,000	336,000
賃借料	0	2,953,170	2,953,170
手数料	0	18,000	18,000
保険料	0	41,400	41,400
租税公課	0	425,000	425,000
支払負担金	0	343,860	343,860
支払利息	0	181,000	181,000
委託費	0	595,350	595,350
雑費	0	67,500	67,500
経常費用計	575,597,968	11,698,032	587,296,000
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高			
一般正味財産期末残高			
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
一般正味財産への振替額			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高			

法人関係の受取事務費は収支0になるように調整  
補助金は前年比率

## 令和2年度一般会計予算

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位:千円)

勘定科目		予算額	前年度 予算額	増減	備考
大	中 小 科目				
<b>I 事業活動収支の部</b>					
<b>1 事業活動収入</b>					
1 受託事業収入		512,500	484,000	28,500	
	配分金収入	440,000	420,000	20,000	配分金収入
	材料費等収入	28,500	28,000	500	材料費、残材処分経費等発注者負担分、運搬車両使用料等
	事務費収入	44,000	36,000	8,000	事務費
2 会費収入		2,400	2,400	0	
	正会員会費収入	2,400	2,400	0	正会員会費収入 1,200名
3 補助金等収入		65,866	79,240	△ 13,374	
	連合交付金収入	7,829	7,036	793	Aランク+入会率限度額加算(国交付金)
	市補助金収入	34,737	45,904	△ 11,167	正職員6名+嘱託1名 (内都補助金12,495千円・市27,137千円)
	重点推進事業費補助金収入	8,300	8,300	0	重点推進3,300千円・派遣5,000千円 (都4,150千円・市4,150千円)
	雇用開発支援事業費等交付金収入	15,000	18,000	△ 3,000	(国・雇用開発支援事業費等交付金)
4 労働者派遣事業等受託事業		6,000	9,600	△ 3,600	
	労働者派遣事業等受託費収入	6,000	9,600	△ 3,600	派遣事業事務委任委託
5 寄付金収入		10	0	10	
	寄付金収入	10	0	10	寄付金収入
6 特定資産運用収入		10	400	△ 390	
	特定資産利息収入	10	400	△ 390	特定資産取崩等利息
7 雑収入		510	530	△ 20	
	受取利息収入	10	30	△ 20	預金利息収入
	雑収入	500	500	0	帽子・ヘルメット代、広告掲載費等
事業活動収入計		587,296	576,170	11,126	

<b>2 事業活動支出</b>					
事業費支出		513,091	501,850	11,241	
受託事業支出		465,630	448,000	17,630	
	配分金支出	440,000	420,000	20,000	配分金支払い
	材料費等支出	25,630	28,000	△ 2,370	材料費、残材処分経費等発注者負担分、 単発受注用車両5台分(トラックx2 道路維持x2 ひまわり)
普及啓発費支出		4,080	9,000	△ 4,920	
	会議費支出	50	100	△ 50	社会奉仕活動茶代 100円×500人
	旅費交通費支出	200	400	△ 200	費用弁償等 2,000円×100人分
	通信運搬費支出	300	600	△ 300	PRチラシ等郵送料
	消耗品費支出	400	1,200	△ 800	6BPR用品等
	印刷製本費支出	1,790	3,700	△ 1,910	シルバーだより・チラシ等印刷
	賃借料支出	200	600	△ 400	デエダラまつり出店等
	手数料支出	0	300	△ 300	
	諸謝金支出	180	300	△ 120	センター相談事業等講師謝礼
	委託費支出	800	1,600	△ 800	ホームページ管理・郵便局広告・市パネル広告 デエダラまつり広告・立川バス広報
	負担金支出	160	100	60	6B関係(マスク)・チラシ等
	雑支出	0	100	△ 100	
研修・講習費支出		450	670	△ 220	
	会議費支出	30	30	0	研修会茶代
	旅費交通費支出	30	30	0	研修旅費交通費
	消耗品費支出	30	50	△ 20	研修用消耗品費
	印刷製本費支出	60	60	0	研修用印刷代
	諸謝金支出	50	200	△ 150	研修講師謝金
	委託費支出	200	200	0	研修講師派遣委託
	負担金支出	50	100	△ 50	植木班・6B研修会負担金
就業開拓提供費支出		12,233	13,500	△ 1,267	
	法定福利費支出	0	100	△ 100	
	旅費交通費支出	60	200	△ 140	会員研修出張等
	会議費支出	200	400	△ 200	お客様等お茶・ボランティアPR参加者用茶等
	通信運搬費支出	1,200	1,600	△ 400	配分金支払い明細書等郵送料
	消耗什器備品費支出	500	1,000	△ 500	脚立・バリカン等(5万円以上30万円未満)
	消耗品費支出	1,073	1,400	△ 327	事業用消耗品購入費(5万円未満)
	修繕費支出	200	600	△ 400	什器等修理代
	燃料費支出	300	500	△ 200	ガソリン等
	賃借料支出	2,600	1,400	1,200	事業用重機等レンタル・車両(軽トラ・バン) (除・単発契約用車両使用料等)
	保険料支出	4,000	4,000	0	シルバー保険料・自動車保険等
	委託費支出	1,300	1,200	100	コンビニ振込システム委託・駐車場管理等委託
	租税公課支出	400	300	100	契約収入印紙等
	貸倒引当金繰入額	250	400	△ 150	貸倒引当金
	雑支出	150	400	△ 250	クレーム対応等
調査研究費支出		180	190	△ 10	
	通信運搬費支出	40	40	0	郵券等
	消耗品費支出	20	30	△ 10	消耗品購入費
	印刷製本費支出	40	40	0	印刷費
	委託費支出	80	80	0	集計委託費
安全就業等推進費支出		3,690	4,130	△ 440	

(単位:千円)

勘定科目		予算額	前年度 予算額	増減	備考
大	中				
	嘱託職員雇報酬支出	2,340	2,650	△ 310	嘱託職員1人分
	嘱託職員諸手当支出	310	0	310	超勤等諸手当
	法定福利費支出	460	460	0	社会・労働保険事業主負担分
	福利厚生費支出	30	30	0	健康診断・定期健診等
	会議費支出	20	30	△ 10	安全管理委員会等茶代
	旅費交通費支出	200	220	△ 20	安全活動費用弁償等
	消耗什器備品費支出	80	80	0	刈払機等
	消耗品費支出	100	300	△ 200	腕章等
	印刷製本費支出	20	80	△ 60	安全啓発チラシ等印刷代
	諸謝金支出	50	160	△ 110	安全研修(転倒予防・自転車等)講師謝礼
	通信運搬費支出	20	40	△ 20	安全郵券等
	負担金支出	50	70	△ 20	安全郵券等
	委託費支出	10	10	0	安全横断幕設置委託等
重点	推進事業費(就業拡大)支出	3,508	3,300	208	重点推進3,300千円(都1,650千円・市1,650千円)
	嘱託職員雇報酬支出	2,340	2,580	△ 240	嘱託職員1人分
	就業開拓員諸手当支出	280	40	240	超勤等諸手当
	法定福利費支出	300	10	290	社会・労働保険事業主負担分
	福利厚生費支出	15	15	0	健康診断・定期健診等
	消耗品費支出	50	77	△ 27	刃物研ぎ・メンタル事業
	通信運搬費支出	60	10	50	携帯料金・刃物研ぎPR等
	旅費交通費支出	10	60	△ 50	嘱託職員1人分
	賃借料支出	370	380	△ 10	車両(就業開拓用等車両1台)
	委託費支出	50	95	△ 45	空き家事業・ハウスクリーニング・メンタル事業・講師派遣
	印刷製本費支出	5	5	0	名刺代
	燃料費支出	28	28	0	ガソリン等
重点	推進事業費(派遣)・ 雇用開発支援事業費(派遣)支出	14,100	23,000	△ 8,900	派遣5,000千円(都2,500千円・市2,500千円) 雇用開発支援事業(国7,500千円)
	嘱託職員雇報酬支出	6,920	11,063	△ 4,143	嘱託職員3人分
	嘱託職員諸手当支出	820	0	820	超勤等諸手当
	法定福利費支出	1,700	1,700	0	社会・労働保険事業主負担分
	福利厚生費支出	120	120	0	健康診断・定期健診等
	消耗品費支出	500	3,900	△ 3,400	コピー用紙・ファイル等
	通信運搬費支出	500	584	△ 84	電話料金・郵券等
	旅費交通費支出	100	100	0	出張旅費等
	賃借料支出	1,700	2,000	△ 300	車輛・エイジレス等
	委託費支出	1,100	1,000	100	CO委託・研修会講師依頼
	印刷製本費支出	600	2,500	△ 1,900	封筒・伝票・名刺等
	燃料費支出	40	33	7	ガソリン等
雇用	開発支援事業(請負等)	9,200	0	9,200	雇用開発支援事業(国7,500千円)
	嘱託職員雇報酬支出	6,876	0	6,876	嘱託職員3人分
	嘱託職員諸手当支出	724	0	724	超勤等諸手当
	法定福利費支出	1,200	0	1,200	社会・労働保険事業主負担分
	福利厚生費支出	30	0	30	健康診断・定期健診等
	消耗品費支出	200	0	200	コピー用紙・ファイル等
	通信運搬費支出	10	0	10	電話料金・郵券等
	旅費交通費支出	10	0	10	出張旅費等
	賃借料支出	100	0	100	車輛・エイジレス等
	委託費支出	30	0	30	CO委託・研修会講師依頼
	印刷製本費支出	10	0	10	封筒・伝票・名刺等
	燃料費支出	10	0	10	ガソリン等
相談	事業費支出	20	60	△ 40	
	印刷製本費支出	10	10	0	相談票等印刷費
	諸謝金支出	10	50	△ 40	相談員謝礼
管理	費支出	72,537	81,590	△ 9,053	
人件	費支出	47,406	47,029	377	職員6人分・嘱託職員1人分
	職員基本給支出	24,958	23,585	1,373	職員基本給
	職員特別給与支出	9,693	10,767	△ 1,074	職員期末勤勉手当
	管理職手当支出	575	814	△ 239	管理職手当
	職員諸手当支出	3,036	4,029	△ 993	扶養・調整・通勤・超勤等手当
	法定福利費支出	7,096	7,086	10	社会保険料、労働保険料等事業主負担分
	福利厚生費支出	186	186	0	健康診断・予防接種・互助会費
	退職給付支出	1,862	562	1,300	職員退職金掛金
管理	運営費支出	25,131	34,561	△ 9,430	
	嘱託職員雇報酬支出	0	2,350	△ 2,350	
	嘱託職員諸手当支出	0	240	△ 240	
	法定福利費支出	0	460	△ 460	
	福利厚生費支出	200	30	170	予防接種・互助会費
	会議費支出	200	200	0	各種会議茶代
	旅費交通費支出	500	500	0	出張旅費、役員等費用弁償等
	通信運搬費支出	1,900	2,000	△ 100	郵券、電話料等
	消耗什器備品費支出	600	1,300	△ 700	備品購入費(5万円以上30万円未満)
	消耗品費支出	1,500	3,300	△ 1,800	消耗品購入費(5万円未満)
	修繕費支出	300	500	△ 200	事務機器修繕費等
	印刷製本費支出	500	1,200	△ 700	議案書印刷費
	燃料費支出	150	300	△ 150	ガソリン等
	光熱水料費支出	2,000	2,000	0	ガス、水道、下水使用料、電気料
	賃借料支出	12,300	10,000	2,300	OA機器、自動車リース料・土地代

(単位:千円)

勘定科目			予算額	前年度 予算額	増減	備考
大	中	小科目				
		保険料支出	600	600	0	施設賠償、現金輸送等保険料・役員賠償保険料・個人情報賠償
		手数料支出	300	300	0	残高証明、登記手数料等
		委託費支出	2,100	7,000	△ 4,900	施設整備、OA機器メンテナンス料・社会労務士
		租税公課支出	1,300	1,300	0	印紙・消費税支払等
		負担金支出	400	400	0	全シ協、社会保険協会等
		支払利息支出	181	181	0	一時借入支払利息
		雑支出	100	400	△ 300	他団体交流費等
事業活動支出計			585,628	583,440	2,188	
事業活動収支差額			1,668	△ 7,270	8,938	

(単位:千円)

勘定科目			予算額	予算額	増減	備考
大	中	小科目				
II 投資活動収支の部						
1 投資活動収入						
		特定資産取崩収入	0	5,000	△ 5,000	
		40周年記念行事引当資産取崩収入	0	5,000	△ 5,000	
		減価償却引当資産取崩収入	0	0	0	
		保証金等戻り収入	0	0	0	
		預託金戻り収入	0	0		
投資活動収入計			0	5,000	△ 5,000	
2 投資活動支出						
		固定資産取得支出	0	0	0	
		固定資産取得支出	0	0	0	
		什器備品購入支出	0	0	0	
		特定資産取得支出	1,668	1,730	△ 62	
		退職給付引当資産取得支出	1,518	1,580	△ 62	
		減価償却引当資産取得支出	150	150	0	
投資活動支出計			1,668	1,730	△ 62	
投資活動収支差額			△ 1,668	3,270	△ 4,938	

III 財務活動収支の部						
1 財務活動収入						
		借入金収入	5,000	5,000	0	
		市借入金収入	5,000	5,000	0	
財務活動収入計			5,000	5,000	0	
2 財務活動支出						
		借入金返済額	5,000	5,000	0	
		市借入金返済支出	5,000	5,000	0	
財務活動支出計			5,000	5,000	0	
財務活動収支差額			0	0	0	

当期収支差額	0	△ 4,000	4,000
当期収支差額	0	△ 4,000	4,000
前期繰越収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	0	0	0
次期繰越収支差額	0	△ 4,000	4,000
次期繰越収支差額	0	△ 4,000	4,000

1 借入金限度額 20,000,000円

2 配分金収入の増加に連動する支出(配分金支出・材料費等支出)に限り、予算額を超えて執行することができる。

参	予算総額	前年度 予算額	増減
	592,296	586,170	6,126